

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

## 3. 調査の対象

泉佐野市立第三中学校 第3学年、全生徒  
実施生徒数（ 188人）

## 4. 調査の内容

- (1) 学力に関する調査
  - ア 教科は、国語及び数学。
  - イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。
  - ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。
- (2) 学習状況に関する調査  
調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。
- (3) 学校の取組みに関する調査  
調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い。

平均正答率（本校 71.0／泉佐野市 75.7／大阪府 77.0／全国 79.4）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国に比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い。

平均正答率（本校 41.4／泉佐野市 44.7／大阪府 47.2／全国 51.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことに課題がある。</p> <p>6二 話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する。(66.0/76.0)</p> <p>○目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することに課題がある。</p> <p>6一 二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する。(47.9/54.3)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○書いた文章について意見を交換し、文章を書き直すことに課題がある。</p> <p>7二 文章の構成を変える理由として適切なものを選択する。(54.8/72.1)</p>	<p>○叙述の仕方などを確かめて、適切に書き換えることに課題がある。</p> <p>4二 主題を置き換えて行事の記録を書きなおす。(70.7/80.5)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○抽象的な概念を表す語句が示すものについて理解することに課題がある。</p> <p>5一 「動物」と「外界のもの」との組み合わせとして適切なものを選択する。(67.6/78.2)</p> <p>【言語に関する知識・理解・技能】</p> <p>○辞書を活用して、語句の意味を適切に書くことに課題がある。</p> <p>8四 国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く。(38.8/59.9)</p> <p>○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。</p> <p>8五1 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。(55.9/80.3)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>○文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>1三 ノートを基に、標語から伝わってくるメッセージと表現の工夫とその効果を書く。(25.1/48.2)</p> <p>○表現の技法について理解することに課題がある。</p> <p>1一 標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する。(44.9/65.3)</p>	<p>○資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに課題がある。</p> <p>2三 水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く。(16.0/28.4)</p> <p>○落語に登場する人物の言動の意味を考え、その姿を想像することに課題がある。</p> <p>3二 殿様の言動を表す殿様の姿として適切なものを選択する。(57.2/67.2)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	68.5	58.2	○	10.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	81.8	72.0	◇	9.8
読書は好きですか	43.6	69.4	○	25.8
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	60.8	56.1		4.7
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	39.2	49.1	◇	9.9

#### 《国語A 正答率》

○古文や語句に関する問題に課題がある。

#### 《国語B》

○言語に関する問題に課題がある。

#### 《授業・意識》

○昨年度に比べ「国語の勉強が好き」が22.1ポイント、「国語の授業の内容はよく分かる」が26.4ポイント増えており、全国平均より約10ポイント高くなっている。国語の学習に意欲的で教職員との関係も良好であることが読みとれる。

○「意見発表で話の組み立てを工夫している」「自分の考えを書くとき、理由が分かるように気をつけて書いている」「文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながらよんでいる」は全国平均を下回っており、課題がある。

○「読書は好き」は、昨年度より11.3ポイント減っており、全国平均より25.8ポイント低い。学校図書館や図書館の利用も少なく、読書習慣の定着に課題がある。また、新聞を「ほとんど、または、まったく読まない生徒」は、全国平均と比べて14.6ポイント多く、テレビやインターネット等から情報を得ている状況がうかがえる。

## 平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

### 1. 全体の傾向

#### 「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多い。  
平均正答率（本校 57.1／泉佐野市 62.8／大阪府 65.0／全国 67.4）

#### 「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層及び中位層がやや少なく、下位層に少し偏っている。平均正答率（本校 49.8／泉佐野市 54.9／大阪府 56.9／全国 59.8）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特徴がみられた設問
<p><b>【数と式】</b>                      ○分数の除法の計算をすることは、概ねできている。                      1（1）<math>3/4 \div 5/6</math> を計算する。 (82.3/85.8)                      ○数量の大小関係を不等式に表すことに課題がある。                      2（1）「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く。 (24.2/45.2)</p> <p><b>【図形】</b>                      ○図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取ることに課題がある。                      4（3）与えられた角が回転移動した後の角を選ぶ。 (29.6/42.5)                      ○底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解することに課題がある。                      5（4）円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ。 (22.0/38.7)</p>	<p>○記号で表された図形の構成要素間の関係を読み取ることに課題がある。                      6（1）長方形ABCDにおいて、<math>AC=BD</math>が表す性質を選ぶ。 (45.2/61.7)</p> <p><b>【関数】</b>                      ○関数の意味を理解することに課題がある。                      9 与えられた表を基に、宅配サービスの重量と料金の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する。 (24.2/35.8)</p> <p>○与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断することに課題がある。                      10（3）<math>s=vt</math>を基に、速さ<math>v</math>が一定のとき、時間<math>t</math>と道のり<math>s</math>の関係について、正しい記述を選ぶ。 (45.2/60.4)</p>

数学B	特徴がみられた設問
<p><b>【数と式】</b>  ○与えられた説明の筋道を読み取り、式を適切に変形することで、その説明を完成することに課題がある。</p> <p>2 (1) 2つの偶数の和は偶数になることの説明を完成するために、式 <math>2m + 2n</math> を変形する。(44. 8/61. 2)</p> <p>○予想された事柄が成り立たないことを判断し、その事柄が成り立たない理由を説明することに課題がある。</p> <p>2 (3) 2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する。(30. 6/44. 2)</p> <p><b>【図形】</b>  ○事象を理想化・単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明することに課題がある。</p> <p>1 (3) 図形の性質を用いて、横断幕が木にまったく隠れない最も低い位置を求める方法を言葉や図で説明する。(40. 4/60. 6)</p>	<p>4 (2) <math>\angle BAC = 110^\circ</math>, <math>BD = AD</math> のとき、<math>\angle DAE</math> の大きさを求める。(14. 8/23. 3)</p> <p><b>【関数】</b>  ○事象を理想化・単純化して問題解決した結果を解釈し、数量の関係を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>3 (2) 大地さんの求め方を基に、ウェーブをする人数と時間について、2つの数量の間の関係を説明する。(48. 6/62. 3)</p> <p>○グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することに課題がある。</p> <p>6 (3) 兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する。(19. 7/29. 9)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	60. 8	56. 6		4. 2
授業の内容はよく分かりますか	70. 2	71. 5		1. 3
授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	42. 6	40. 9		1. 7
授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	69. 1	67. 4		1. 7
授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートなどに書いていますか	82. 4	80. 0		2. 4
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	88. 4	93. 4	◇	5. 0

#### 《数学A 正答率》

○比例や反比例、数量関係など、1, 2年で学んだ内容の正答率が国と比べると低く、学習状況調査の『予習はするが復習はしない』という内容と深く結びついていると考えられる。また、短答式の問題については、無解答率が高いのが目立っており課題がある。

《数学B 正答率》

○数学Aと同じく、短答式、記述式の問題における無解答率の高さが目立っており、課題がある。また、証明や説明をする問題においても正答率が低く課題がある。

《授業・意識》

○「数学の勉強は好き」が、全国平均より高く、「授業の内容はわかりやすい」と感じている生徒も全国平均とほぼ同じくらいである。数学の学習に意欲的で教職員との関係も良好であることが読みとれる。

○「授業で問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える」が全国平均より少し低くなっており、「今回の問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか」についても全国平均より5ポイント低く、応用問題や記述式の問題で無答が多い状況にも表れている。ねばり強く取り組む姿勢に課題がある。

○「数学で学習したことは、社会に出て役に立つと考えている生徒」「問題の解き方を工夫している生徒」「授業のノートを活用している生徒」は、全国平均より高くなっている。特に、「授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートなどに書いている」は、昨年度より46.2ポイント増えており、ノートを大切にしている指導の成果が表れている。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○朝食の摂取率が全国に比べ低い。</p> <p>○起床の時間は、全国と大きな差は無いが、同じくらいの時刻に寝ているのは、全国よりも少ない。</p> <p>○テレビ・DVDを見たり、聞いたりする時間・ゲームをする時間及び携帯電話やスマートフォンで、通話・メール・インターネットをする時間が長い。携帯電話・スマートフォンを持っていない生徒も全国より13.6ポイント少ない。</p>	<p>○朝食を毎日食べていますか &lt; 88.9/93.5 &gt;</p> <p>○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか &lt; 65.8/74.1 &gt;</p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームをする時間は除く）「3時間以上」 &lt; 42.5/31.5 &gt;</p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。「3時間以上」 &lt; 30.9/20.3 &gt;</p> <p>○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）。「3時間以上」 &lt; 32.0/19.8 &gt;</p>
【家庭学習の様子】	<p>○学習塾に通っていない生徒は、全国と比べて13ポイント少なく、7割を超える生徒が塾にしている。塾での学習時間も含めて家庭学習の時間は、全国を上回っている。自分で計画を立てて勉強することも全国を上回っているが、学校の復習に時間を割いている生徒は少ない。また、授業以外にほとんど勉強しない生徒も全国平均より4.6ポイント多く、二極化していることがわかる。</p>	<p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）2時間以上 &lt; 40.9/35.1 &gt;</p> <p>○授業以外の1日の勉強時間が「全くしない」「30分より少ない」をあわせると &lt; 19.3/14.7 &gt;</p> <p>○学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか 学習塾に通っていない &lt; 26.5/39.5 &gt;</p> <p>○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか &lt; 53.6/46.6 &gt;</p> <p>○家で、学校の授業の復習をしていますか &lt; 40.4/50.4 &gt;</p>

<p>【学校での 学習の様子】</p>	<p>○学習内容の振り返り活動はあまり行っていないと感じている。</p> <p>○その場で先生に尋ねるという生徒が、全国と比べて18.5ポイント多い。先生との距離感の近いことがうかがえる。</p> <p>○国語が好きな生徒は全国と比べると、10ポイント以上いる。</p> <p>○数学で、最後まで解答を書こうとする粘り強さに課題がある。</p>	<p>○1, 2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか  <u>&lt; 40.9/53.3 &gt;</u></p> <p>○授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですかは、「その場で先生に尋ねる」が  <u>&lt; 37.0/20.9 &gt;</u></p> <p>○国語の勉強は好きですか <u>&lt; 68.5/58.2 &gt;</u></p> <p>○今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか <u>&lt; 88.4/93.4 &gt;</u></p>
-------------------------	--	--



## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

昨年度はスクールエンパワメント加配を活用し、5つの重点課題（①基礎学力の向上②家庭学習の定着③学力調査の分析による三中の課題④教師間における課題の共有⑤各教科の絶対評価についての研究）を設け、校内研修の充実（研究授業も含む）を図ってきた。

次に、平成26年度の取組みについて記載する。

・1学期

- メロディーチャイムの導入、「授業の受け方・大切にしたい9つのこと」から抽出した重点3項目の徹底と教職員間の申し合わせ事項の取組み
- 教職員対象授業規律アンケート（重点3項目等の取組み状況の検証）を実施し、結果をスクールエンパワメント通信で教職員に返し自己点検を行った。
- 生徒対象学習アンケート（授業規律重点3項目、めあて、振り返りの取組み状況を把握）を実施し、その結果をSE通信「風が吹く」で知らせることにより、生徒に意識づけを行なった。
- 家庭学習の徹底と継続のために・・・1年、3年プリント学習とそのファイリング  
2年「毎日の生活・学習ノート」の提出
- 1年・2年 力だめしプリントを使用した基礎学力調査の実施と分析を行い、結果の一部をSE通信「風が吹く」に掲載し、生徒に授業の受け方、家庭学習、特に復習の仕方について具体的に説明した。
- 冊子「目標準拠評価規準の9教科一覧」・「家庭学習の手引き」の作成と配布。
- 5月校内研修：テストングの学習から授業改善へ（講師招聘）
- 6月末校内研修：1学期ちょっと早めの総括 【教師対象及び生徒対象アンケート結果分析】
- 8月校内研修：自ら学び取る生徒を育てる授業づくり（講師招聘）

授業 三中スタイル

1. めあてを板書し、生徒の動機づけをする授業
2. いきいき活動する場面がある授業（ペアワークなど）
3. 考える場面がある授業
4. 静かに自分を振り返る、振り返り活動がある授業
5. ユニバーサルデザインの視点による授業設計

### ◎これからの取組み

- 授業規律の継続（重点3項目の徹底と教師間の3つの申し合わせ事項）。
- めあて・振り返りのマグネットシートの使用状況の把握と徹底。
- 振り返り活動の推進。
- 授業における三中スタイルの実践状況を把握し、その結果を3学期校内研修で活用する。
- 家庭学習の内容の工夫や提出率を高める工夫。
- 本年度より本校に配置された学校図書館司書を中心に読書活動推進のための整備を行う。
- 教職員対象授業規律アンケート及び生徒対象学習アンケートの実施と分析。その結果の活用。
- 平成26年度全国学力・学習状況調査の分析結果の教職員の周知。
- SE通信で全国学力・学習状況調査の分析の一部を掲載し生徒に学習や家庭生活の在り方の方向性を示す。ノートの書き方、使い方の指導を行う。
- 昨年度より取り組んでいる目標準拠評価による評価について研究を進め、来年度の実施に向け準備を行う。その過程で生じた課題の解決を図るため討議、研修を行う。
- 11月校内研修：道徳の研究授業と協議（講師招聘）「一人ひとりがつながった対等な関係性を構築する」
- 2月末校内研修：各教科の研究授業と協議（講師招聘）「三中スタイルの実践」